



「みなさんは、日々の暮らしの中に気にかけてくれる存在がいますか？」

5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

沢野地区 高林北町 要支援者見守り活動



民生委員 田部井宮子さん



左:栗田保さん
右:民生委員 久保田恵子さん

高林北町元区長の栗田保さん(75)は、区長時代の4年前から要支援者の見守り活動を始めました。

要支援者とは、65歳以上の高齢者で災害発生時に一人で避難が難しい人や地域で気になる人のこと。住所や細かな情報を拡大地図に付箋で貼り付け、栗田さんと民生委員さんとで情報共有し、随時更新しています。

要支援者の人数は現在20名ほど。ご自宅を1か月に1回訪問しています。訪問は、栗田さんと民生委員さんが別の日に行っており、複数の見守り体制が構築されています。

見守り活動を通じた地域のつながり

栗田さんが訪問をする際は、名刺に大きく連絡先を記載し「何かあれば遠慮なく気軽に電話してください」と声掛けしながら周っています。栗田さんは令和6年3月に区長を退任してからも「気になるから」と見守り活動は継続しています。活動の際は「健康のために」と車ではなく自転車を使って訪問しています。訪問先の方からは「栗田さんと民生委員さんがいつも気にかけてくれてありがたいです」「安心感があります」との声が聞かれました。



要支援者が記載してある拡大地図

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



栗田さんと民生委員さんからは「ここのお家は先週入院してしまって誰もいないの」「ここのお家は草が生い茂ってしまって心配なの」といった情報や「以前訪問した時〇〇な事があって〇〇に相談したことがあったわ」など、訪問先での困りごとについて対応した時のお話を聞くことができました。



要支援者宅へ訪問する様子

★訪問先でお話を伺いました★



Yさん (88歳)

現在、介護サービスを使っていますが、50年以上前から近所のお友達が毎日お茶飲みに来てくれています。「いろんな方に見守られ、安心して暮らせています」とお話を伺いました。



Fさん (88歳)

週1回デイサービスへ通うようになりましたが、買い物へは週2回近所の方が連れて行ってくれます。「栗田さん、あがっていくかい？お茶飲んでいきな」と栗田さんと深谷さんの信頼関係が築かれていました。



Tさん (83歳)

庭仕事と畑仕事が日課になっています。車は、本当に必要な時だけ運転します。「詐欺の電話がたくさん来るが、気軽に相談できる方がいるので安心です」とお話を伺いました。



Kさん (81歳)

車の免許を持っていないため、普段は自転車で行動しています。「民生委員さんと栗田さんがいつも来てくれ、気にかけてくれて本当にありがたいです」とお話を伺いました。



高林北町では、民生委員さんと一緒に栗田さんのような区長・区長経験者も地域の見守り活動に参加することで、孤立を防ぎ、定期的に住民と顔を合わせることで困りごとの相談がしやすい体制ができあがっていました。

★あなたの地域のお宝情報を募集しています！
「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします。

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229

